



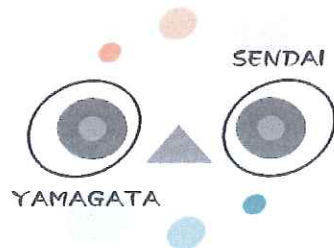
河北新報社主催 第37回仙山カレッジ

## 大学生が描く仙山圏の未来

宮城、山形両県には計20校の四年制大学があり、毎年約1400人の学生が県境を越えて入学します。東日本大震災以降は、多くの大学生ボランティアが県境を越えて被災地支援に駆け付け、地域住民と交流が進みました。また、両県が2018年5月に公表した新連携基本構想は若者の交流拡大や人材育成を施策に組み込んでおり、大学生の取り組みへの注目が高まっています。

フォーラムでは、ボランティア、大学間交流、地域支援、調査研究の分野で県境をまたいで活躍する大学生に焦点を当て、次世代の仙山圏をどう発展させていくか話し合います。

- 日時 2018年7月21日(土)午後1時30分から午後4時
- 会場 荘銀山形ビル5階 大会議室 (山形市本町1丁目4-21)
- 講演 「創造の持つ力と可能性～芸工大生との被災地ワークショップを通じて～」  
東北芸術工科大教授 沢口 俊輔氏(エデュケーションデザイン)
- 討論 パネリスト  
東北芸術工科大4年 松本 麗華さん(石巻市でものづくりワークショップ)  
山形大3年 山口 芽衣さん(東北大生らと体験型実験教室)  
東北学院大3年 橋本 雅史さん(尾花沢市などで雪下ろしボランティア)  
宮城大2年 高内 滯奈さん(宮城・山形の伝統野菜の地質調査)
- 座長・コーディネーター  
宮城学院女子大現代ビジネス学部長 宮原 育子氏



**聴講無料**  
**先着100人**

### 【交流会のご案内】

フォーラム終了後、午後4時15分ごろから、会場隣の山形グランドホテル2階「サンリヴァ」にて、宮原座長と講演者、パネリストの皆様を交えた「交流会」を開きます。会費は3000円。フォーラム聴講をお申し込みの際、交流会参加の有無もお知らせください。

### 仙山カレッジとは

河北新報社が2003年に創設した連続公開講座。宮城、山形両県で交互に開催し、旬の話題とともに、県境を越えた広域連携の在り方を考えます。

### お申し込みは

河北新報社: 電話 022(211)1714

平日午前10時～午後5時

E-mail [senzan@po.kahoku.co.jp](mailto:senzan@po.kahoku.co.jp)

※件名に「仙山カレッジ」と明記

特別協力 フィデア総研